

特定鳥獣保護管理計画検討・評価委員会ツキノワグマ部会 議事概要（令和2年7月17日開催）

項目	意見の概要	回答
ツキノワグマ管理事業実施計画について	<ul style="list-style-type: none"> R.3計画 (5)「・・・ツキノワグマの個体数推定を行う」→「個体数の動向に関するモニタリングを行う」 <p>理由： この程度の規模の調査では、正確な個体数の推定には程遠く、あくまでも生息数の動向（増減の傾向）を把握するためのモニタリング、と位置付けた方が妥当である。岩手県でも同様な表現で実施中。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表現については、改めて検討させていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度実績報告書（市町村実施分）P13以降～ <p>R1.実績の欄で、捕獲頭数が記載されていない市町村がある。全市町村足並みをそろえた記述になるよう指導すべき。</p> <p>例えば大和町の評価の欄には「捕獲実績も増加している・・・」とあるが、実績の欄の2-(4)には項目だけあって、実績数が記載されていない。</p> <p>またその捕獲数の記載の際、「錯誤捕獲」の頭数も同時に記載すべき。なぜなら近年錯誤捕獲が増加しているが、今後の錯誤捕獲の対応を考える場合に備えて錯誤捕獲数の動向をおさえておく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 捕獲頭数や錯誤捕獲数の記載については、各市町村と検討して参ります。
	<p>A： Google My Map を利用した出没情報の提供（1 被害防除対策及び2 個体数管理 の項目にある）は注意喚起等に効果的であると思いますが、いくつか疑問点があり、問題点もあると考えます。</p> <p>1) 入力にあたって、振興局等からの情報を「出没位置の一覧表=R1 ツキノワグマ目撃情報（HP 掲載）」ファイル等にまとめ、「市区町村」、「地区」項目をもとに地図を見ながら Google My Map にポイントを落としているのですか？ それともポイントの緯度経度データがもともとあるのですか？</p> <p>2) 1)において前者の場合、もともと「～地内」といった広がりのある地域を示すデータであったはずなのに、地図に落とすことで緯度経度というポイントデータが恣意的に新たに付け加わってしまい、将来的な分析（2 個体数管理 の項目にある）ます。何らかの形で「ぼかし」が必要と考えます。</p> <p>3) 2)において後者の場合、Google My Map の便利な点である「スプレッドシートからのインポート機能」を利用できていますか？</p> <p>4) 出没位置を1年間まとめて（管理事業実績にはH31.4.1～R2.7.12 と1年以上とあります）掲載すると「最近頻繁に出没している場所」等の情報が見にくくなります。もう少し短期間のほうが良いように思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> グーグルマップの入力については、各市町村から送付される図面（住宅地図や道路地図）で出没位置を把握し、ポイントに落としています。 出没位置のシート毎のまとめ方等については、グーグルマップの機能上の制限等も含め、よりよい公表の仕方について引き続き検討して参ります。

項目	意見の概要	回答
	<p>5) ただし、Google My Map でのレイヤー数は 10 層しかありません。将来的にも代替可視化手法及びデータ管理手法を考えておくほうが良いかと思います。</p> <p>B: 林業技術総合センターからも報告がありますが、「02 資料 ツキノワグマに関する各種データ」の「年度別捕獲状況」をもとに、ブナ結実と出没について視覚的にわかるようグラフ化してみました。オレンジ色のラインがブナの凶作指数（高いほど凶作）、ブルーのラインがクマの有害駆除数、横軸は年（2005～2019）です。</p> <p>ここ 15 年間を見ても有害駆除数はブナ凶作の豊凶と同調しています。</p> <p>計算によれば、宮城県のここ 15 年のデータからクマの有害駆除数の変動の約 60%をブナの豊凶変動で説明できます。残りは他の食物資源の変動が関与しているはずであり、林業技術総合センターで行っているミズナラ豊凶調査（資料別紙5のツキノワグマ出没予測を目的とした堅果類豊凶調査 豊凶判定【ミズナラ】）の位置付けが重要であると考えます。</p>	<p>・ 豊凶調査のデータの収集方法や、出没予測への反映については、今後も県林業技術総合センターの研究者と調整して参ります。</p>
	<p>・ 生息数の結果を期待しております。</p>	<p>・ 今年度、県内2地域で計150台のカメラトラップ調査による生息数推定調査を実施中です。結果がまとまりましたら、次期管理計画の目標設定等も踏まえて、調査結果について御報告したいと思います。</p>

